

報道関係者各位：

AAA2018 の審査員を発表



2017 年 12 月にファイナリストを発表した Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA (以下:AAA2018)。本アワード ディレクター小澤慶介と、国枝かつら氏、金澤韻氏、服部浩之氏、山峰潤也氏の 5 名が選考委員となり、AKI INOMATA、小金沢健人氏、冨井大裕氏、和田昌宏氏の 4 名をファイナリストに選出しました。ファイナリストは新作あるいは準新作を制作し、2018 年 3 月、TERRADA ART COMPLEX で開催するファイナリスト展で展示します。展覧会期間中に開催される大賞・特別賞審査会には、秋元雄史氏、長谷川祐子氏、林洋子氏、Joyce Toh、尤洋 (You Yang) 氏、包一峰 (Bao Yifeng) 氏を審査員に迎え、受賞者を決定、審査結果は 3 月 8 日にアートフェア東京 2018 会場内にて発表します。大賞受賞者には、今後のさらなる活躍を期待し、賞金、制作活動場所、そして上海とアートフェア東京 2019 での受賞作発表の機会が提供される予定です。

アワード概要

Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA は、日本からアジア、アジアから世界へと、今後ますます国際的な活躍が期待されるアーティストの支援を目的に創設された現代アートのアワードです。本アワードの対象は、現代アートの領域で活動し、同時代のグローバルな問題意識とともに世界を見通す力が作品に現れているアーティストです。

タイトル	: Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA
主催	: 一般社団法人 アート東京
特別協賛	: 寺田倉庫
協賛	: TERRADA ART ASSIST 株式会社 株式会社イープラス
協力	: 文化庁

【特長】

- ・ 国内の若手から中堅キュレーター 5 名が候補アーティスト 4 名を選出
- ・ アートフェア東京 2018 と同時期に展覧会を開催し受賞者を発表
- ・ 国内外より招聘された審査員による大賞審査

【賞金および副賞】

大賞	賞金 100 万円 (予定)
副賞	上海での受賞作展示 (予定) 及び 作品制作場所の提供 (半年間-1 年間) (予定) *
特別賞	作品制作場所の提供 (半年間-1 年間) (予定) *
	*TAC ART STUDIO (TERRADA ART COMPLEX 2F)

【展示巡回】

ファイナリスト新作・準新作 — 2018 年 3 月 TERRADA ART COMPLEX 4F (東京) (予定)
大賞受賞作品 — 2018 年 11 月 上海 (予定)
大賞受賞作品 — 2019 年 3 月アートフェア東京 2019 (東京) (予定)

展覧会概要

名称	: Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA – ファイナリスト展
会期	: 2018 年 3 月 3 日 (土) から 3 月 18 日 (日) まで (会期中無休)
開館時間	: 月 – 金曜日 13:00-19:00 土曜日・日曜日 12:00-20:00 ※3 月 7 日 (水) は審査会のため一般入場はできません。
会場	: TERRADA ART COMPLEX 4F 東京都品川区東品川 1-33-10 入場無料

大賞決定記者発表 ※プレス関係者向け

日時	: 2018 年 3 月 8 日 (木) 15:00~ (予定)
会場	: 東京国際フォーラム B2F ホール E セミナールーム 東京都千代田区丸の内 3-5-1

審査員 (*敬称略)

秋元雄史	東京藝術大学大学美術館 館長・教授/金沢 21 世紀美術館 特任館長
長谷川祐子	東京都現代美術館 参事/東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科 教授
林 洋子	文化庁 芸術文化調査官
Joyce Toh	シンガポール美術館 キュラトリアルチーム共同代表
尤洋	ユーレンス現代美術センター 副館長
包一峰	ART021 共同創設者

特別審査員 (*敬称略)

隈研吾	建築家/東京大学 教授
-----	-------------

ファイナリスト選考委員 (*敬称略)

小澤慶介	本アワードディレクター/アートト 代表/インディペンデント・キュレーター
金澤 韻	インディペンデント・キュレーター/十和田市現代美術館 学芸統括
国枝かつら	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸員
服部浩之	インディペンデント・キュレーター
山峰潤也	水戸芸術館現代美術センター 学芸員

主催・特別協賛について

ART TOKYO ASSOCIATION	主催：一般社団法人 アート東京 一般社団法人 アート東京は、日本のアートマーケットの発展と芸術文化の振興を目的とし、アートに関連する様々な事業を企画・制作しています。国内最大級のアートの国際見本市「アートフェア東京」を主催するほか、日本のアート産業に関する市場調査の実施、アートを切り口に地域の魅力を外国人に紹介するアートツーリズム事業等、アートフェア東京で培ったネットワークを活かし日本のアートシーンの発展に寄与しています。
-----------------------------	---

	特別協賛：寺田倉庫 寺田倉庫は1950年の創業以来、美術品、メディア、ワインといった専門性の高い商品の保存・保管技術では国内外で高い評価を得ています。近年は拠点とする天王洲をアートの集積地・発信地とすべく、ミュージアム、画材ラボ、レンタルアトリエの運営、アートアワードの開催といったアート関連事業にも積極的に取り組んでいます。
---	---

AKI INOMATA

1983 年 東京都生まれ / 東京都在住



2008 年東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。生き物との協働作業によって作品制作をおこなう。主な作品に、都市をかたどったヤドカリの殻をつくり実際に引っ越しをさせる「やどかりに『やど』をわたしてみる」、飼犬の毛と作家自身の髪でケーブルを作ってお互いが着用する「犬の毛を私がまとい、私の髪を犬がまとう」など。近年の展覧会に、「Coming of Age」(Sector 2337、シカゴ、2017)、「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」(2016)、「ECO EXPANDED CITY」(WRO Art Center、ヴロツワフ、ポーランド、2016) などがある。2017 年 ACC の招聘でニューヨークに滞在。



やどかりに「やど」をわたしてみる -White Chapel-
2014
樹脂
6×6×6cm
©AKI INOMATA courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY



girl, girl, girl . . .
2012
ミノムシ、服地、映像、写真
サイズ可変
©AKI INOMATA courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY

小金沢健人 Takehito Koganezawa

1974 年 東京都生まれ / 広島県在住



武蔵野美術大学映像学科卒業後 1999 年ベルリンへ渡り、同地で 18 年を過ごしたのち 2017 年に帰国。時間への興味を振り出しに、日用品の使い方からシャーマニズムまで、幅広く“意識の変容”に関心を持ちアプローチしてきた。映像、ドローイング、パフォーマンス、立体製作、インスタレーションと制作のメディアを拡張している。「Manifesta 4」(フランクフルト、ドイツ、2002 年)、「あいちトリエンナーレ 2010」(2010 年)などの大型国際展に参加多数。主な個展に KOGANEZAWA (Haus Konstruktiv, Zurich 2009 年)、Luftlinien (Haus am Waldsee, Berlin 2012 年)、煙のゆくえ (スパイラル 2016 年) など。



速度の落書き
2008
マルチチャンネルビデオ・インスタレーション
サイズ可変



電流の繁殖
2009
223 本の蛍光灯、タイマー
サイズ可変

富井大裕 *Motohiro Tomii*

1973 年 新潟県生まれ / 神奈川県在住



既製品に最小限の手を加えることで、それらを固定された意味から解放し、色や形をそなえた造形要素として、「彫刻」のあらたな可能性を模索する。近年の個展に、「像を結ぶ」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku/東京、2017)、また主なグループ展に「MOT アニュアル 2011」(東京都現代美術館、2011)、「横浜トリエンナーレ 2011」(横浜美術館、2011)、「単位展—あれくらい どれくらい どれくらい?」(21_21 DESIGN SIGHT/東京、2015)、「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋—日本と韓国の作家たち」(国立新美術館/東京、韓国国立現代美術館(果川館)/ソウル、2015-2016) などがある。



PP_FS #11

2015

紙袋

152×50×18cm

©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

Photo: YANAGIBA Masaru



粘土の為のコンポジション

2014

陶、テラコッタ

サイズは作品により異なる

©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

Photo: YANAGIBA Masaru

和田昌宏 *Masahiro Wada*

1977 年 東京都生まれ / 東京都在住



2004 年ロンドン大学ゴールドスミスカレッジファインアート卒業。個人としてアーティスト活動の他、現在「国立奥多摩美術館」や「Ongoing Collective」など、オルタナティブスペースやアーティストコレクティブの活動にも関わっている。近年の主な展覧会に「 $R\mu v - 1/2g\mu v R = (8\pi G/c^4)T\mu v$ 」(LOKO GALLERY、2016)、「どしゃぶりの虹 (YAMAMBA)」(Art center Ongoing、2016)、「奥能登国際芸術祭 2017」(奥能登口伝資料館)、「富士の山ビエンナーレ 2016」(旧蒲原劇場、2016)、「国立奥多摩映画館」(国立奥多摩美術館、2016)、「国東半島芸術祭 『希望の原理』」(旧香々地町役場、2014)、「横浜トリエンナーレ 2014」(横浜美術館、2014) などがある。



A Song For My Son (蒲原)

2016

ミクストメディア (ダブルスクリーンインスタレーション)

サイズ可変

Photo: Ujin Matsuo



遠い昔、はるか彼方の銀河系で、

2014

ミクストメディア

サイズ可変

お問合せ先

- ・ プレスリリースに関するお問合せ：一般社団法人 アート東京 [島田]
E-MAIL: press@artfairtokyo.com / TEL: 03-5797-7912
- ・ アワード、展覧会に関するお問合わせ：一般社団法人 アート東京 [三木]
E-MAIL: office@asianartaward.com / TEL: 03-5797-7912